

かみましき「命と防災」の日集会



熊本地震の体験～岩永先生～



自分の命の守り方～中村先生～



だんごむしのポーズ

14日は、かみましき「命と防災」の日です。台風・豪雨・地震などの自然災害に対する認識を深めると同時に、日頃からの備えとして避難の仕方について確認するとともに自分の命、友だちの命の大切さについて理解を一層深めることをねらいとして実施しました。上益城管内では、14日は、平成28年度熊本地震前震の日に、各学校で集会を行うことになっています。

今年の集会では、益城町で熊本地震を経験した岩永先生の体験の話をお聞きました。地震で家具の下敷きになった家族や近所の方を助けたこと、16日の本震で家が全壊したこと、多くの方に助けられたことへの感謝など、当時の様子を真剣に聴く子どもたちの姿が見られました。その後、防災教育担当の中村先生から自分の命を守る方法、たつの防災「**た**だしく行動 **つ**ぎのことを考えて **の**うを守るだんごむし」について、話を聞き、全校で確認しました。実際に、やってみると、1年生もとても上手にだんごむしのポーズができました。

最後に、自然災害発生時に大切なこととして、「よく見る・・・自分の目で確認する」「よく聞く・・・正しい情報を知る」「落ち着いて行動する」ことについて話をしました。そのために、学校で今重点として取り組んでいる「話を聞くこと」「落ち着いて行動する力が身につくよう廊下を歩く」ことの大切さを話しました。

防災教育で大切なことは、「自分の命は自分で守る」ことです。その基本は、落ち着いた学校生活を送ることだと考えています。「自分の命は、自分で守る・命の大切さ」について考えた集会となりました。

子どもたちが安全に登下校できるように。

毎朝、登校時には多くの地域の方が見守りをいただいています。昨日、子どもたちの登校時犬がにいました。飼い犬で子どもたちに何か危害を加えることはありませんが、犬が苦手な子どももいました。すると、地域の多くの方が子どもたちのために行動して下さいました。本校職員もかけつけたのですが、地域の方が子どもたちと一緒に歩いて下さったり、子どもたちのほうに犬が来ないようにして下さいました。中には、通勤途中の方や駐在所の方も協力していただきました。また、飼い主の方もかけつけていただきました。おかげで子どもたちも安心して登校することができました。本当にとっても素晴らしい龍野校区の方々です。

今週の1年生の下校時には、ドラパト隊の方や区長さん、民生児童委の方がたくさん一緒に下校して下さいました。本当に有り難いことです。このことは当たり前のことではありません。龍野小校区の方々、子どもたちのことを大切に考えて下さっているおかげです。ご家庭でも、是非子どもたちに感謝することについてお話し下さい。

地域の皆さん、いつもありがとうございます！